

外観



第5別館は、オープンキャンパスや大学入試、各種資格試験など、入学予定者や外部の方が利用されることも多いため、優先的にトイレ改修を実施。

改修前トイレ



築50年ほどが経過した古い印象のトイレ空間。過去に「洋式便器の数を増やす」「自動水栓の設置」など、部分的なトイレ改修を行ってきたが、全面的な改修は今回が初めてとなる。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用。ジアテクト機能により、尿石の付着やにおいの発生を抑制することができる。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを防ぐハイドロセラ・フロアを設置。

男性トイレ 大便器コーナー



男性トイレも女性トイレ同様に、間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに、個室感を高めている。トイレ入口近くには、身だしなみチェックのために全身鏡を設置している。

女性トイレ 洗面コーナー



荷物が多い学生に配慮し、水濡れを心配せずに荷物を置くことができる、ツインデッキカウンターを採用。既存の窓を生かして鏡を配置し、外部からの視線を遮るため、窓にフィルムを張っている。

女性トイレ パウダーコーナー



学生の要望を反映し、ゆっくりお化粧直しができるパウダーコーナーを設置。身だしなみチェックもできるように、棚付の全身鏡を設置している。

多機能トイレ



使いやすさと同時に空間としての統一感のあるデザインを実現したRESTROOM TEM01のフラットカウンター多目的トイレバックを採用。関西学院大学における多機能トイレの標準仕様となっている。

トイレ図面



女性トイレの便器数を増やすため、男女の配置を入れ替え、各トイレにあった広めのブースの代わりに、男女共通で利用できる多機能トイレが新設された。

女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図るとともに、個室感を高めている。扉の上部は、圧迫感がないように光を通す透過性のある材料を使用している。

女性トイレ 大便器ブース



大便器は、4.8L洗浄のウォシュレット一体形便器を採用。2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能も搭載しているので、大幅な節水効果が期待できる。大便器後方の棚には、バッグなどを置くことができる。

建築概要

名 称	関西学院（かんせいがくいん）大学 西宮上ヶ原キャンパス 第5別館
所 在 地	兵庫県西宮市上ヶ原1番町1-155
施 主	学校法人関西学院
設 計	株式会社竹中工務店
施 工	株式会社竹中工務店
竣 工 年 月	（改修）2014年9月

水まわりの特長

<改修の経緯>
1889年に創立した関西学院大学。本部がある西宮上ヶ原キャンパスは、国の登録有形文化財である時計台をはじめ、「スパニッシュ・ミッションスタイル」で統一された建築群が特長とする、日本でも有数の美しいキャンパス。近年、駅や商業施設においてトイレ環境の整備が進み、社会全体でトイレの高機能化および美化に対する認識が高まってきている。このため大学においても、「きれいなトイレ」が大学を選ぶときの要点の一つになっていることもあり、関西学院では、機能的で美しいトイレを実現するために、2014年度から年次計画でトイレの改修に取り組んでいる。2014年度は、入学予定者や外部の方、多くの学生が利用することが多い施設を優先、第5別館とB号館の全フロア、商学部本館トイレ1Fの全面的な改修を実施した。

<トイレの特長>
学生の要望を反映し、洗面コーナーや大便器ブースに荷物置きスペースを確保。全ブースにウォシュレット一体形便器を採用。さらに、身だしなみ配慮として女性トイレにパウダーコーナーを設置するなど、学生にとって快適なトイレを実現している。床は耐久性に考慮しタイルを使用しているが、清掃方法はモップで拭き取る乾式清掃を採用している。